

かはわかりませんが、スタッフとも話しを重ねていきたいと思っています。

さまざまな形の“働きたい”を応援する

港第二育成園
管理者 窪田 真一

若葉がいちだんと爽やかに感じられる季節となりました。昨年度末で港第二育成園は就労移行支援事業を廃止し、今年度より就労継続支援B型単体でスタートいたしました。前年度と同様に就労したいという利用者の方のニーズにお応えす



べく面接の練習や企業見学、企業実習等の就労への取り組みは引き続き行います。『就職を諦めていない就労継続支援B型事業所』として着実に活動していきたいと思っております。現在、港第二育成園に通所されている利用者の方の“働きたい”には様々な形態があります。○将来は企業で働きたい。○毎日、園内で働いて、行事にも参加したい。○就職は希望しないけどグループ実習に出て園内作業よりもたくさんの工賃を稼ぎたい。

このような利用者の方の様々な形態の“働きたい”を応援できるよう、港第二育成園での作業や企業実習等のプログラムの充実はもちろんのこと、どんな場所で、どんな形で働きたいのか利用者、保護者の皆さんのニーズに耳を傾け支援を行っていかねばならないと思っております。一方で、働くことが大切なのはもちろんですが、しっかりと余暇を楽しむことも大切です。働くことへの原動力なるよう今年度も利用者の皆さんが楽しみに出来るような園外行事を企画していきます。“よく働き、そしてよく遊ぶ!!”利用者にとって港第二育成園が楽しくて充実した一日を過ごせる場所であることができるように今年度も職員一同努力してまいりますので、どうぞこれからもご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

みんなが安心して働ける場所

ワークスいけじま
管理者 杉原 浩司

この4月からワークスいけじまに管理者として配属されました杉原です。

私自身平成19年度から23年度までいけじまに働いていたこともあり、5年ぶりの勤務となります。よろしくお願ひします。



ワークスいけじまは元々、長年就労や訓練をしてきた人が安心して働ける場所を目指して港第二育成園の分場としてスタートし、平成23年度より定員20名の就労継続支援B型事業所として運営しています。

現在の利用者の平均年齢は51歳になり、ほとんどの方が一般企業での就労経験があり、落ち着いた雰囲気のある事業所です。

ワークスいけじまの利用者は、これまでの人生で楽しいことも辛いこともいっぱい経験されてきておられ、おだやかに笑顔で過ごしておられます。

そんなワークスいけじまですが、最近再就職される方も出てきました。ワークスいけじまの雰囲気の中でもう一度チャレンジしてみようという気持ちになられたのだと思います。「就職しても続けることが難しくなったら、いつでも戻ってきたらええやん」そんな気持ちで後押ししていければと思っています。

一方で5年ぶりに戻ってきて感じたのは利用者の高齢化です。5年前にバリバリと働いてきた方たちも、当たり前ですが歳を重ねています。そのような彼らに寄り添いながら、人生の次のステージと一緒に考えていくことも、今後の課題になると思います。

また、ワークスいけじまでは笑顔と一緒に働きたいという利用者を随時募集していますので、見学・ご相談などお待ちしております。

最後に今後も利用者みなさんが笑顔で安心して働ける場所を目指して頑張りますので、今後共にご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

